

# 令和4年度 公益財団法人岡山県臓器バンク事業実績報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

「臓器の移植に関する法律(平成9年法律第104号)」の基本である臓器提供の意思表示について、「臓器提供意思表示カード」の普及や各種媒体を活用した啓発事業に引き続いて取り組むとともに、「健康保険証・運転免許証・マイナンバーカード」の意思表示欄へ明示することを講演会、広告媒体、イベント等の場で積極的に働きかけた。また、県からの受託事業である「臓器移植コーディネーター設置事業」及び「いのちのリレーを考える啓発推進事業」を中心に、県など関係団体と連携して制度の普及推進に努めた。

## <公益目的事業>

腎臓・心臓・肺・肝臓・膵臓等の移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供に係る意思表示カードの普及に関する事業

### I 「臓器提供意思表示カード」の普及事業

臓器の移植に関する法律に基づく臓器提供者の確保には、意思表示カードの普及が重要なことから、公的機関や医療機関等を中心に意思表示カード配付箱を設置し、さらに、配付箱の設置について、事業所・団体への協力依頼を行った。

また、健康保険証等への意思の明示を働きかけるとともに、イベント等において意思表示カード(計9,965枚)を配付した。

引き続き、さまざまな分野への普及に努めた。

(主な意思表示カード配布先)

① 成人式	6,700枚
② キャンペーン(推進月間等)	3,000枚
③ ライオンズクラブ	50枚
④ その他(病院・学校等)	215枚
令和4年度合計	9,965枚

### <参 考>

平成28年度合計	19,789枚
平成29年度合計	18,650枚
平成30年度合計	19,620枚
令和元年度合計	17,422枚
令和2年度合計	8,150枚
令和3年度合計	7,055枚

## II 普及啓発事業

### 1 臓器移植普及推進月間を中心に実施した事業

#### (1)いのちのリレーを考える講演会(岡山県との共催事業)

日 時：令和4年10月22日(土) 14:00～16:00

場 所：ピュアリティまきび及びオンライン

座 長：岡山大学学術研究院医歯薬学域 救命救急・災害医学 教授 中尾篤典 氏

進 行：倉敷中央病院 救命救急センター救急科 主任部長 池上徹則 氏

講 演 I 「ACPについて考えてみよう」

岡山県医師会 会長 松山正春 氏

講 演 II 「法的視点から見た終末期医療のあり方」

中央大学大学院 法務研究科 教授 井田良 氏

座談会 「終末期医療を考える ～自分のいのちをみつめてみよう～」

参加者 約 80 名

#### (2)全国グリーンライトアッププロジェクトへの参加

臓器移植法が施行された10月16日は、家族や大切な人と「移植」や「いのち」のことを話し合い、互いの臓器提供に関する意思を確認する日として「グリーンリボンデー」とされている。

令和4年10月12日から10月18日まで、備中国分寺五重塔、津山中央病院、津山市すこやかこどもセンターにおいて、移植医療のシンボルカラーであるグリーンのライトアップを行い、意識の醸成を図った。

#### (3)イベント等への参加

①10月1日に岡山駅で岡山県、岡山県腎臓病協議会等と共催でリーフレット等を配布

②11月3日に JFE 西日本フェスタに参加し、岡山県腎臓病協議会と共催でリーフレット等を配布

### 2 新聞による啓発

山陽新聞社の協力により、「臓器移植で、つなぐいのち」と題して、5月30日付けの山陽新聞紙面に企画記事を掲出した。

### 3 啓発用チラシの作成・配付

公共施設や集客施設等へ配置するとともに、医療関係者へ配付を依頼するなど、「臓器提供」の意思表示について幅広く周知を図った。

### 4 広報誌の発行

9月に「臓器バンクだより第32号」を発行し、関係機関及び賛助会員等関係者に配布した。

## 5 ホームページによる啓発

臓器移植に対する県民の理解を深めるため、ホームページ上に関係する情報を掲載するなど、その普及啓発に努めた。

### 【令和4年度アクセス件数】

2, 705件、 1日平均7.4件

## 6 出前講座の開催

県の委託を受けて、県内の中学校、高等学校及び大学等で、合計約2,086人を対象に、延べ12回の臓器移植に係る出前講座を開催した。

## III 臓器移植促進事業

### 1 移植コーディネーター業務の実施

岡山県から「臓器移植コーディネーター設置事業」の委託を受け、県内における移植コーディネート業務を実施した。（詳細は別紙）

担当者：安田和広 臓器移植コーディネーター

- ・臓器提供協力病院等巡回訪問、連絡調整
- ・医療従事者(学生)及び一般県民への普及啓発

### 2 (公社)日本臓器移植ネットワークへの参加

会員として、ネットワークとの連携強化に努めるとともに、支部会議等に出席し情報収集に努めた。

## IV 管理運営に関する事項

### 1 理事会・評議員会の開催

#### 【理事会】

(1) 令和4年5月26日

#### <決議事項>

- ・令和3年度事業実績及び収支決算報告の承認の件
- ・理事候補者(重任)の選定の件 ・補欠理事候補者の選定の件
- ・補欠評議員候補者の選定の件
- ・評議員会開催の件

(2) 令和4年9月8日(書面による決議)

#### <決議事項>

- ・補欠理事候補者の選定の件 ・補欠評議員候補者の選定の件
- ・評議員会開催の件

(3) 令和5年2月10日

#### <決議事項>

- ・令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件
- ・評議員会開催の件

#### <報告事項>

- ・評議員辞任の件

## 【評議員会】

(1) 令和4年7月5日（書面による決議）

＜報告事項＞

・令和3年度事業実績報告の件

＜決議事項＞

・令和3年度収支決算の承認の件 ・理事の選任(重任)の件

・補欠理事の選任の件 ・補欠評議員の選任の件

(2) 令和4年10月24日（書面による決議）

＜決議事項＞

・補欠理事の選任の件 ・補欠評議員の選任の件

(3) 令和5年3月8日

＜決議事項＞

・令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件

＜報告事項＞

・評議員辞任の件

## 2 基本財産の管理

国債・公債で運用した。

○利付き国債第339回（10年） 購入額面7,000万円 利率0.4%

○利付き国債第340回（10年） 購入額面 985万円 利率0.4%

○岡山県令和2年度第2回公募公債（10年）

購入額面1,000万円 利率0.12%

## 3 活動資金

賛助会員の募集、寄附金の勧誘等に努めた。

## 4 事務局体制

事務局は、岡山県アイバンクと同室とし、両バンクの職員は相互に業務を兼務して事務の効率化と経費の節減に努めた。

# 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金・預貯金	17,456,864	15,623,228	1,833,636
未収金	437,179	101,500	335,679
流動資産合計	17,894,043	15,724,728	2,169,315
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	89,910,399	89,910,399	0
普通預金	89,601	89,601	0
基本財産合計	90,000,000	90,000,000	0
(2)その他固定資産			
投資有価証券	0	0	0
什器備品	2	2	0
車両運搬具	1	1	0
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	74,987	74,987	0
固定資産合計	90,074,987	90,074,987	0
資産合計	107,969,030	105,799,715	2,169,315
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	98,309	74,221	24,088
未払金	137,979	0	137,979
流動負債合計	236,288	74,221	162,067
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,080,000	9,385,600	694,400
固定負債合計	10,080,000	9,385,600	694,400
負債合計	10,316,288	9,459,821	856,467
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産	97,652,742	96,339,894	1,312,848
(うち基本財産への充当額)	(90,000,000)	(90,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	97,652,742	96,339,894	1,312,848
負債及び正味財産合計	107,969,030	105,799,715	2,169,315

# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	331,400	331,400	0
② 受取会費			
賛助会員受取会費	1,489,000	1,612,000	△ 123,000
③ 受取補助金等			
県受託収入	8,534,000	8,978,000	△ 444,000
受取民間助成金(共同募金会)	190,000	170,000	20,000
受取民間助成金(ネットワーク)	1,312,011	693,036	618,975
④ 受取寄附金			
受取寄附金	301,535	326,000	△ 24,465
⑤ 負担金収入			
(公財)アイバンク負担金	117,780	66,096	51,684
⑥ 雑収益			
受取利息	191	182	9
雑収益	25,000	25,000	0
経常収益計	12,300,917	12,201,714	99,203
(2) 経常費用			
① 事業費	10,334,475	9,782,718	551,757
カード普及費	92,956	9,807	83,149
通信運搬費	9,356	9,807	△ 451
需用費	83,600	0	83,600
旅費交通費	0	0	0
普及啓発費	987,108	711,157	275,951
給与手当	0	0	0
福利厚生費	0	27,298	△ 27,298
通信運搬費	82,654	86,088	△ 3,434
需用費	379,147	505,231	△ 126,084
旅費交通費	35,320	2,540	32,780
賃借料	69,987	0	69,987
諸謝金	420,000	90,000	330,000
移植促進費	9,254,411	9,061,754	192,657
給与手当	6,188,580	6,196,856	△ 8,276
福利厚生費	971,697	1,062,289	△ 90,592
退職給付費	694,400	699,000	△ 4,600
通信運搬費	51,416	49,145	2,271
需用費	932,428	708,192	224,236
旅費交通費	50,600	5,100	45,500
燃料費	143,290	112,423	30,867
賃借料	72,000	72,000	0
減価償却費	0	6,749	△ 6,749
負担金支出	150,000	150,000	0
② 管理費	653,594	663,300	△ 9,706
給与手当	0	0	0
福利厚生費	0	6,824	△ 6,824
会議費	0	0	0
通信運搬費	35,742	35,701	41
需用費	304,589	306,557	△ 1,968
旅費交通費	0	0	0
賃借料	250,633	246,384	4,249
諸謝金	27,500	27,500	0
手数料	14,730	14,696	34
減価償却費	0	5,238	△ 5,238
雑費	20,400	20,400	0
経常費用計	10,988,069	10,446,018	542,051
評価損益等調整前当期経常増減額	1,312,848	1,755,696	△ 442,848
投資有価証券評価損益等(償還損)	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,312,848	1,755,696	△ 442,848
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,312,848	1,755,696	△ 442,848
一般正味財産期首残高	96,339,894	94,584,198	1,755,696
一般正味財産期末残高	97,652,742	96,339,894	1,312,848
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	97,652,742	96,339,894	1,312,848

## 令和5年度事業計画

岡山県臓器バンクでは、令和5年度も引き続き、臓器移植法の基本である臓器提供者の意思表示を明示してもらうため、「臓器提供意思表示カード」の所持と「健康保険証・運転免許証・マイナンバーカード」の意思表示欄への記載を、一人でも多くの人に行ってもらおうよう、県民に対して臓器移植についての普及啓発を中心に事業を進めていくとともに、岡山県の委託を受け「臓器移植コーディネーター設置事業」を進めてまいります。

また、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、事業の進め方やその方法について、関係者と協議しながら工夫を行ってまいります。

### <公益目的事業>

#### I 臓器提供意思表示に係る普及事業

臓器提供は、善意の意思表示から始まることから、厚生労働省及び（公社）日本臓器移植ネットワークが推進する「臓器提供意思表示カード」の配布・普及活動を下記のとおり岡山県と連携しながら展開するとともに、意思表示欄のある「健康保険証・運転免許証・マイナンバーカード」への記載の普及についても働きかけを行う。

- (1) 希望者が自由に持ち帰れるよう「臓器提供意思表示カード」を下記の場所に配置し、引き続きこれら事業所、施設におけるカードの配置・補充等について協力・支援を働きかける。

- ア 県庁、県民局（地域事務所）、保健所、その他の県事務所
- イ 市役所、町村役場、保健センター等施設
- ウ 運転免許センター
- エ 医療機関（病院、診療所、薬局）
- オ 赤十字血液センター、献血ルーム
- カ 自動車教習所、スーパー、コンビニ、その他事業所等

- (2) 報道機関(テレビ、新聞等)の協力を得て、当バンクの活動をPRするとともに、臓器提供の意思表示について視聴者や購読者に呼びかける。

- (3) 次の行事、イベント等において「臓器提供意思表示カード」を配布する。

- ア 市町村主催の二十歳の集い、健康まつり等のイベント
- イ 地域、事業所、団体等のイベント
- ウ 大学、高等学校、看護学校等の学園祭等
- エ ライオンズクラブ及び当バンク主催のキャンペーン

- (4) 団体の役員又は構成員を対象に「臓器提供意思表示カード」の配布を依頼する。  
愛育委員連合会、婦人協議会、栄養改善協議会等

#### II 普及啓発事業

腎不全をはじめとする臓器の機能障害や臓器移植の現状についての正しい知識を、多くの人に持っていただくため、次の普及啓発事業を行う。

- (1) 10月の臓器移植普及推進月間における取組。（講演会、グリーンライトアッププロジェクト等）

- (2) 高等学校等の若い世代を対象とした出前講座を実施するほか、公民館の講座、ライオンズクラブ、愛育委員連合会等団体の役員や会員、事業所職員を対象に「臓器移植講座」(説明会)の開催を働きかける。
- (3) 啓発用チラシを作成し、医療機関及び各種業界団体に対して、配置や関係者への配付について協力を依頼する。
- (4) 広報誌「臓器バンクだより」等の普及啓発資料を発行するとともにホームページによる啓発を行う。
- (5) 県、市町村、その他団体の広報紙に「啓発記事」の掲載を依頼する。
- (6) ライオンズクラブやNPO法人岡山県腎臓病協議会と連携し、臓器移植普及推進月間行事をはじめ、キャンペーン等を実施する。

### Ⅲ 臓器移植促進事業

医療機関、(公社)日本臓器移植ネットワーク及び患者団体等との連携を強化し、臓器移植の円滑な促進を図るとともに、心停止後の腎臓、眼球の同時提供事例があることから、岡山県アイバンクとも連携を取りながら、円滑な対応に努める。

- (1) 岡山県から「岡山県臓器移植コーディネーター設置事業」の委託を受け、臓器移植コーディネーター業務を実施する。
- (2) 臓器移植コーディネーターは、岡山県アイバンクからの委嘱により、提供者の家族に対して臓器提供の説明時に眼球提供の説明をする。
- (3) 相互情報交換、臓器移植ワーキンググループ会議や研修会の開催など、移植関係医療機関との連携を密にし、コーディネーター業務の円滑な推進を図る。
- (4) (公社)日本臓器移植ネットワークの会員として、積極的に事業に協力するとともに情報収集などに努める。
- (5) NPO法人岡山県腎臓病協議会などの患者団体等と連携を深め、活動を支援する。
- (6) 臓器提供者及び遺族に対する感謝の念を忘れず、遺族の動向を把握し、必要な場合は援助をする。

### <管理運営に関する事項>

- 1 当臓器バンクの財源確保を図るため、賛助会員の確保、拡大等に努める。  
特に、医療関係団体・ライオンズクラブ・ロータリークラブ・経済関係団体等に賛助会入会等支援の働きかけを積極的に行う。
- 2 基本財産は、国債及び地方債(岡山県債)で運用する。  
[令和5年2月1日の運用状況]
  - ① 利付き国債(10年)第339回 購入額面 7,000万円 利率0.4%
  - ② 利付き国債(10年)第340回 購入額面 985万円 利率0.4%
  - ③ 岡山県債(10年)R2公募公債 購入額面 1,000万円 利率0.12%
- 3 事務局は、岡山県アイバンクと同室とし、両バンクの職員は相互に事務を兼務し、事務の効率化と経費の節減に努める。



# 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	330	330	0	
② 受取会費				
賛助会員受取会費	1,600	1,700	△ 100	
③ 受取補助金等				
県受託収入	8,534	8,534	0	
受取民間助成金	170	170	0	共同募金会
受取民間助成金	600	600	0	日本臓器移植ネットワーク
④ 受取寄附金				
受取寄附金	400	500	△ 100	
⑤ 負担金収入				
(公財)アイバンク負担金	115	115	0	事務所経費・摘出諸経費
⑥ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	25	25	0	
経常収益計	11,774	11,974	△ 200	
(2) 経常費用				
① 事業費	13,212	13,562	△ 350	
カード普及費	80	80	0	
通信運搬費	30	30	0	
需用費	50	50	0	ポケットティッシュ
普及啓発費	4,310	4,300	10	
給与手当	2,800	2,800	0	
福利厚生費	460	450	10	
通信運搬費	100	100	0	
需用費	600	600	0	
旅費交通費	50	50	0	
賃借料	200	200	0	
諸謝金	100	100	0	
移植促進費	8,822	9,182	△ 360	
給与手当	6,250	6,200	50	
福利厚生費	1,030	1,000	30	
退職給付費	360	700	△ 340	
通信運搬費	60	60	0	
需用費	600	600	0	
旅費交通費	150	200	△ 50	
燃料費	150	200	△ 50	
賃借料	72	72	0	駐車場
減価償却費	0	0	0	
負担金支出	150	150	0	日本臓器移植ネットワーク
② 管理費	1,495	1,490	5	
給与手当	700	700	0	
福利厚生費	115	110	5	
会議費	10	10	0	
通信運搬費	60	60	0	
需用費	250	250	0	
旅費交通費	40	40	0	
賃借料	250	250	0	事務所・コピー機
諸謝金	30	30	0	税理士
手数料	20	20	0	
雑費	20	20	0	
経常費用計	14,707	15,052	△ 345	
当期経常増減額	△ 2,933	△ 3,078	145	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,933	△ 3,078	145	
一般正味財産期首残高	96,339	94,584	1,755	
一般正味財産期末残高	93,406	91,506	1,900	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	93,406	91,506	1,900	